

デザインマネジメントで、
新たな雇用を創出

CASE 03 事例紹介

アボネット abonet (保護帽)

アボネットは頭部保護帽の機能性とファッション性を兼ね揃えたオシャレで頼もしい帽子。病気や発作で転びやすく頭を守る必要のある方、遊び盛りのお子様やお年寄りの方、また頭をぶつけやすい工場にお勤めの方々に広く愛用されています。高い機能性と品質を評価され、グッドデザイン賞を二度受賞しました。

デザインマネジメントに取り組み始めたきっかけ

「アボネット」は元々、障がい者の頭部保護など福祉向けに開発した保護帽で、現在は冬道転倒時の頭部保護など一般向けにも販路を広げています。開発のきっかけは、従来から当社で製造していた保護帽のデザイン性を高めるための産学官プロジェクトに取り組んだことでした。

機能重視の帽子とはいえ、「おしゃれではないために、街中で被れない」という課題に突き当たり、「服飾デザイナーの力を借りよう」ということで紹介されたのが森 久見子氏(現・商品企画室長)でした。製品デザインが洗練されたものになっていくのを目の当たりにして、「我が社にはデザインを専門に担当するスタッフが必要」ということを強く実感し、森氏を当社に迎えることにしました。



社内デザイナーがいるからできること

森室長の入社によって最初が変わったのは、当社の縫製部門のスタッフと、産学官プロジェクトで協力いただいている外部デザイナーとのコミュニケーションでした。デザインができあがっても、「デザイン画通りの縫製が可能か? できなければどこを修正するのか?」というすりあわせが必要になります。森室長が双方の事情を理解し、プロデューサー的役割を担ってくれたことで、製品化までが格段にスムーズになりました。

また、森室長は、お客様からの相談があれば、営業担当と一緒に全国どこでもヒアリングに出かけ、製品デザインに反映します。当初は病院の介護スタッフからの要望が中心でしたが、最近はドクターからの相談も増え、これまで考えてもみなかった要望を受けるようになってきました。

さらに、近年はカタログやチラシ、パッケージといったコミュニケーション

ツールにも力を入れています。製品の価値を伝えるためには、伝達手段にも配慮する必要があるとの思いからです。

デザインマネジメントから生まれた新たな雇用

「アボネット」は、シリーズで年間1万個を販売するまでになりました。開発当初は2-3名だった縫製部門も、現在は12名体制に増強しています。営業部門にもデザインを学んでいた人材を採用するなど、アボネットの開発がきっかけで、仕事の進め方が変わり、必要となる人材が変わりました。森室長を補佐するために、新たな服飾デザイナーを採用する予定にもなっています。今後もこの流れで製品開発を続けていきたいと考えています。

01 abonet GUARDは前頭部の保護を重視しています
02 製品開発の打ち合せの様子
03 代表取締役社長 池田 啓子氏

Company Profile



株式会社特殊衣料

株式会社特殊衣料

所在地：札幌市西区発寒14条14丁目2-40

TEL：011-663-0761

代表者：代表取締役社長 池田 啓子

資本金：4,000万円

設立：昭和56年(1981年)

主要事業：リネンサプライ(病院、施設)、清掃(病院、施設)、福祉用具((1)オリジナル商品の開発、(2)福祉用具の製造(自社商品とOEM商品)、(3)福祉用具のレンタル・住宅改修、(4)福祉用具の販売)

URL：http://www.tomoni.co.jp/



In House Designer

森 久見子 Kumiko Mori

株式会社特殊衣料 商品企画室長

札幌のアパレルメーカーで約20年婦人服の企画・デザイン・パターン・生産管理等の商品作りに携わる。ファッションデザイン専門学校でアパレルデザインの講師勤務を経て、平成16年特殊衣料に入社。



【受賞歴】

- ・さっぽろモードコンペティション北海道知事賞 受賞
- ・さっぽろモード大賞 受賞
- ・日本ファッション新人クリエイター特別賞 受賞
- ・第2回ものづくりスペシャリスト
ものづくり新技術・技能部門最優秀賞 受賞